

株 主 各 位

大阪市中央区上町一丁目3番10号  
株式会社エスケイジャパン  
代表取締役社長 久保敏志

### 第11期定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第11期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、お手数ながら後記の参考書類をご検討下さいまして、同封の委任状用紙に賛否をご表示いただき、ご押印のうえ、折返しご送付下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

#### 記

1. 日 時 平成12年6月29日(木曜日)午前10時
2. 場 所 大阪市中央区馬場町2番24号  
KKRホテル大阪 3階 銀河(西)の間
3. 会議の目的事項  
報告事項 第11期(平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)営業報告書報告の件  
決議事項  
第1号議案 第11期貸借対照表、損益計算書および利益処分案承認の件  
第2号議案 定款一部変更の件  
議案の要領は、後記の「議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類」(14頁から15頁まで)に記載のとおりであります。  
第3号議案 当社取締役および従業員に商法第280条ノ19の規定による新株引受権を付与する件  
議案の要領は、後記の「議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類」(16頁から18頁まで)に記載のとおりであります。

以 上

◎当日総会にご出席の際は、お手数ながら同封の委任状用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。

## 営業報告書

(平成11年4月1日から  
平成12年3月31日まで)

### 1. 営業の概況

#### (1) 営業の経過および成果

アミューズメント業界におきましては、大型店舗が好調な反面、既存店は厳しい雇用環境を反映した消費マインドの冷え込みや、人気ゲーム機の不在、携帯電話の急速な普及等に伴う若年層消費行動の変化等の影響により、停滞傾向が続きました。

また、当社が携わる景品部門に関しましては、オペレーター（ゲームセンターを運営する法人または個人）各社が景品部門を拡大した結果、オペレーター全体の売上高に占める割合は四分の一近くまでになりました。しかし、これは一時的な現象ではないかという見方もあり、景品を提供する企業間の競争も激化しており、今後景品部門においても業者間の二極化現象が進むことが予想されます。

このような状況のもと当社は、顧客ニーズに対応した商品販売の提案等、顧客に密着した営業活動を展開しました。同時にキャラクター商品の企画も積極的に実施し、今期は新たに140種類のオリジナルキャラクター商品が誕生しました。移り変わりが激しいキャラクター商品が多い中でも、NHK教育テレビの人気番組「ハッチポッチステーション」や、アーケードゲームで好評のクイズ&バラエティゲームのキャラクター「すくすく犬福」は特に市場ニーズに合致し、売上高と利益の増加に大きく貢献しました。

また、今期から立ち上げたSP部門に関しましては、来期以降の本格的な展開に備えての準備、ノウハウの蓄積に努めました。

売上高は4,340百万円（前期比111.7%）、経常利益は436百万円（前期比134.3%）となりました。また、当期利益は239百万円（前期比152.2%）となり、増収増益と順調な業績を達成することができました。

コンピュータ西暦2000年問題に関しましては、「西暦2000年問題対策本部」を中心に早くから対応した結果、大きな問題もなく推移いたしました。

なお、当社は更なる発展を目指して、平成11年7月5日に大阪証券取引所新市場部に上場申請を行い、平成11年8月24日に第一号として上場いたしました。株主の皆様のご支援、ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

## 商品分類別売上高

(単位：千円、%)

期 別 品 目	前 期 自平成10年4月1日 至平成11年3月31日		当 期 自平成11年4月1日 至平成12年3月31日		対前期比増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
ぬいぐるみ	940,485	24.2	1,412,385	32.5	471,900	150.2
家庭雑貨	1,332,288	34.3	1,572,123	36.2	239,835	118.0
アクセサリ、 キーホルダー	1,365,237	35.1	1,156,522	26.7	△ 208,715	84.7
玩具、スポーツ・ レジャー用品	169,998	4.4	153,108	3.5	△ 16,890	90.1
そ の 他	76,791	2.0	46,066	1.1	△ 30,725	60.0
合 計	3,884,801	100.0	4,340,206	100.0	455,405	111.7

## (2) 今後の見通しと会社に対処すべき課題

景気の先行きに不透明感が漂い、個人消費の伸びも期待できる材料が見当たらない状況の中、アミューズメント業界におきましても遊びの多様化が進むにつれて、業界の中だけでなく、携帯電話やアウトドアレジャー等に代表される異業種と競合する現象もみられるようになりました。今後、生き残りをかけた厳しい時代がさらに加速するものと思われまます。

このような中で、当社は情報収集力の強化をはかるために、大阪中心であった物づくりの拠点を徐々に東京に移行して、商品企画開発体制の基盤を構築いたします。当社のモットーである「子供から大人まで幅広い層に夢を与えるキャラクター商品を人々の生活の中に提供する」に基づいて、これからも癒し・安らぎ・潤いのある商品の企画開発に取り組んでまいります。また販売面におきましては、最近の主な出店形態である大型複合施設への販売を強化するために、チェーン店専任の担当者を設置し、将来のチェーン店営業課立ち上げの基礎づくりを行うとともに、売上高の拡大を推進いたします。

当社は、新年度を第二の創業期として21世紀に飛躍するための基盤創りの年として認識し、安定した経営基盤の確立のため、総力を傾注する所存であります。

株主各位におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### (3) 設備投資の状況

記載すべき事項はありません。

### (4) 資金調達の状況

平成11年8月24日の株式上場に伴い、平成11年8月23日を払込期日とする公募増資により新株式550千株を発行して、310百万円の資金を調達いたしました。

### (5) 営業成績および財産の状況の推移

区 分	平成9年3月期 (第8期)	平成10年3月期 (第9期)	平成11年3月期 (第10期)	平成12年3月期 (第11期)
売上高(百万円)	3,369	3,417	3,884	4,340
経常利益(百万円)	187	207	324	436
当期利益(百万円)	108	96	157	239
1株当たり当期利益(円)	936.69	575.25	885.91	76.07
総資産(百万円)	1,711	1,676	1,952	2,491
純資産(百万円)	693	789	1,006	1,552

- (注) 1. 1株当たり当期利益は、期中平均発行済株式総数により算出しております。  
なお、平成11年7月22日付をもって額面金額500円の株式1株を額面金額50円の株式15株に分割しておりますので、平成12年3月期の1株当たり当期利益は、期首に分割が行われたものとして計算しております。
2. 平成12年3月期の総資産と純資産の増加には、公募増資による310百万円が含まれております。

## 2. 会社の概況

### (1) 主要な事業内容（平成12年3月31日現在）

当社はキャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、家庭雑貨、携帯電話向けアクセサリ等の企画・販売を行っております。

### (2) 主要な事業所

名 称	所 在 地
本 社	大阪市中央区上町一丁目3番10号
東 京 営 業 所	東京都台東区蔵前四丁目33番7号
名 古 屋 営 業 所	名古屋市中村区名駅南四丁目8番12-501
福 岡 営 業 所	福岡市中央区小笹四丁目1番12号

### (3) 株式の状況

① 会社が発行する株式の総数 11,255,460株

② 発行済株式の総数 3,363,865株

(注) 1. 平成11年7月22日付をもって額面金額500円の株式1株を額面金額50円の株式15株に分割しております。これにより発行済株式数が2,626,274株増加しております。

2. 平成11年8月24日に公募増資による新株式550,000株を発行しております。

③ 当期末株主数 571名

#### ④ 大 株 主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況		当社の大株主への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率	持 株 数	持 株 比 率
	(株)	(%)	(株)	(%)
久 保 敏 志	1,716,455	51.02	—	—
ゴールドマンサックスインターナショナル	141,000	4.19	—	—
田 中 美 晴	50,000	1.48	—	—
エステイジヤパン従業員持株会	45,450	1.35	—	—
ニュウジョパンセキュリティーズ インターナショナルホロンコンリミテッド	33,000	0.98	—	—
久 保 三 則	30,000	0.89	—	—
株式会社第一勧業銀行	30,000	0.89	—	—
モルガンスタンレーアンドカンパニー インターナショナルリミテッド	29,000	0.86	—	—
株式会社さくら銀行	22,500	0.66	—	—
株式会社三和銀行	22,500	0.66	—	—

#### (4) 従 業 員 の 状 況

従 業 員 数	前 期 末 比 増 減	平 均 年 齢	平 均 勤 続 年 数
63名	4名増	27.6歳	2.8年

(注) 上記従業員数には、子会社への出向者は含まれておりません。

#### (5) 企 業 結 合 の 状 況

##### ① 重要な子会社の状況

社 名	資 本 金	持 株 比 率	主 要 な 事 業 内 容
株式会社サンエス	10百万円	100%	物 品 卸 売 業

##### ② 企業結合の成果

連結決算の対象は、上表に掲げた連結子会社1社であります。

当期の連結売上高は5,030百万円（前期比116.1%）で、連結当期利益は242百万円（前期比151.0%）となりました。

## (6) 主要な借入先

借入先	借入額	借入先が所有する当社株式の状況	
		持株数(株)	持株比率(%)
株式会社第一勧業銀行	185百万円	30,000	0.89
株式会社三和銀行	94	22,500	0.66
株式会社さくら銀行	57	22,500	0.66
株式会社富士銀行	30	15,000	0.44

## (7) 取締役および監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	久保敏志	
常務取締役	八百博徳	商品担当
取締役	中村英記	営業担当
取締役	久保山浩樹	㈱サンエス・取締役
取締役	川上優	管理担当
監査役	西田昌弘	
監査役	柳瀬征	

- (注) 1. 平成11年6月18日開催の第10期定時株主総会において、川上優氏は取締役に選任され就任いたしました。
2. 平成11年6月18日開催の第10期定時株主総会終結の時をもって、監査役篠永孝範氏は退任いたしました。

## (8) 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実 特記事項はありません。

# 貸借対照表

(平成12年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	1,579,128	流動負債	833,234
現金及び預金	762,802	買掛金	317,564
受取手形	119,623	短期借入金	204,360
売掛金	486,343	一年内返済予定長期借入金	57,704
有価証券	57,701	未払金	54,091
自己株式	273	未払法人税等	119,067
商 品	55,157	未払消費税等	18,618
前 渡 金	18,894	未払費用	39,768
短期貸付金	60,000	預り金	2,773
前払費用	7,493	賞与引当金	19,284
繰延税金資産	13,971	固定負債	105,778
その他の流動資産	1,194	長期借入金	105,778
貸倒引当金	△ 4,328	<b>負債合計</b>	<b>939,012</b>
固定資産	912,374	<b>資本の部</b>	
有形固定資産	740,566	資本金	336,002
建物	293,717	法定準備金	368,864
車輛運搬具	10,380	資本準備金	367,364
工具器具備品	2,338	利益準備金	1,500
土地	434,130	剰余金	847,623
無形固定資産	5,244	別途積立金	400,000
電話加入権	5,244	当期末処分利益	447,623
投資等	166,562	(うち当期利益)	(239,318)
子会社株式	10,000	<b>資本合計</b>	<b>1,552,490</b>
破産債権・更生債権等	7,650	<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,491,502</b>
保険積立金	153,576		
差入保証金	950		
繰延税金資産	1,693		
その他の投資	342		
貸倒引当金	△ 7,650		
<b>資産合計</b>	<b>2,491,502</b>		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



# 損 益 計 算 書

(平成11年4月1日から  
平成12年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金	額	
経常損益の部	営業収益		4,340,206	
	営業費用			
	売上原価	2,915,696		
	販売費及び一般管理費	989,376	3,905,072	
	営業利益		435,133	
	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息	2,124	
		受取家賃	9,142	
		業務受託収入	7,714	
		保険解約益	8,952	
有価証券売却益		3,917		
為替差益		2,666		
雑収入		3,313	37,832	
営業外費用				
支払利息		9,750		
新株発行費用	9,337			
上場関連費用	17,381			
雑損失	426	36,904		
経常利益			436,061	
特別損益の部	特別損失			
	固定資産売却損	845	845	
税引前当期利益			435,215	
法人税、住民税及び事業税		202,807		
法人税等調整額		△ 6,909	195,897	
当期利益			239,318	
前期繰越利益			199,549	
過年度税効果調整額			8,755	
当期未処分利益			447,623	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
市場性のある有価証券……移動平均法による低価法  
その他の有価証券……移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商 品……総平均法（月次）による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産……法人税法に規定する方法と同一の基準による定率法によっております。
- (4) 引当金の計上基準  
貸倒引当金：債権の貸倒による損失に備えるため、法人税法の規定に基づく法定繰入率による繰入限度額のほか、個別の債権について、回収不能見込額を計上しております。  
賞与引当金：従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
- (5) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (6) 適格退職年金制度について
  - ① 当社は平成10年10月1日より退職金制度の100%について適格退職年金制度を採用しております。
  - ② 平成12年3月31日現在の年金資産の合計額は11,173千円であります。
  - ③ 平成12年3月31日現在の過去勤務費用は38,523千円であります。
  - ④ 過去勤務費用の掛金の期間は10年であります。
- (7) 消費税等の会計処理  
税抜方式によっております。
- (8) 税効果会計について  
当期より税効果会計を適用しております。これに伴い、従来の方法に比べ、当期利益は6,909千円、当期末処分利益は15,665千円増加しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 114,081千円
- (2) 子会社に対する短期金銭債権・債務  
短期金銭債権 65,588千円  
短期金銭債務 8,644千円
- (3) 貸借対照表に計上した固定資産のほか、コンピュータシステムの一部についてリース契約により使用しております。
- (4) 担保に供している資産  
建 物 282,568千円  
土 地 422,270千円

(5) 保証債務等  
受取手形割引高 25,598千円

(6) 新株引受権  
商法第280条ノ19に定める新株引受権の残高は18,000千円であり、新株引受権の行使によって額面普通株式を発行価額200円で発行します。新株引受権の行使期間は平成13年9月1日から平成15年8月31日であります。

(7) 1株当たりの当期利益 76円07銭

### 3. 損益計算書に関する注記

(1) 子会社との取引高  
光 上 高 115,286千円  
仕 入 高 18,625千円

(2) 営業取引以外の取引  
受 取 利 息 1,672千円  
受 取 家 賃 9,142千円  
業 務 受 託 収 入 7,714千円

## 利益処分案

(単位：円)

科 目	内 訳	金 額
当期未処分利益		447,623,586
これを次のとおり処分いたします。		
利益準備金	6,000,000	
株主配当金	50,451,600	
〔1株につき普通配当10円 記念配当5円〕		
役員賞与 (うち股査役分)	6,200,000 (400,000)	
別途積立金	100,000,000	162,651,600
次期繰越利益		284,971,986

## 監査報告書

私たち監査役は、平成11年4月1日から平成12年3月31日までの第11期営業年度の取締役の職務の執行に関して各監査役から監査の方法及び結果の報告を受け、協議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役の監査の方法の概要

各監査役は、取締役会その他重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査し、子会社に対しては営業の報告を求め、必要に応じて子会社へ赴き、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び附属明細書につき検討を加えました。

取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例でない取引並びに自己株式の取得及び処分等に関しては、上記の監査の方法のほか、必要に応じて取締役等から報告を求め、当該取引の状況を詳細に調査いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書と合致しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 営業報告書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 利益処分に関する議案は、会社財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (5) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (6) 取締役の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

なお、取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等についても取締役の義務違反は認められません。

- (7) 子会社調査の結果、取締役の職務遂行に関して指摘すべき事項は認められません。

平成12年5月10日

株式会社エスケイジャパン

監査役 西田 昌 弘 ㊟

監査役 柳 瀬 征 ㊟

以上

## 議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類

1. 議決権の代理行使の勧誘者 **株式会社エスケイジャパン**  
代表取締役社長 **久保敏志**

2. 議決権を有する株主が有する株式の総数 3,357,000株

### 3. 議案に関する参考事項

**第1号議案** 第11期貨借対照表、損益計算書および利益処分案承認の件

議案の内容は、添付書類8頁から12頁に記載のとおりであります。当期の株主配当金につきましては、当社をとりまく環境は依然として厳しいものがあり、企業体質強化のため内部留保に努めながら、業績を考慮したうえで、普通配当金として1株につき10円とし、これに株式公開と創業10周年の記念配当金として1株につき5円を加え15円とさせていただきますたく存じます。

なお、第11期営業報告書は、添付書類2頁から7頁に記載のとおりであります。

**第2号議案** 定款一部変更の件

#### 1. 変更の趣旨および目的

この度の株式の上場に伴い、当社の発行する株券は「株券等の保管及び振替に関する法律」（昭和59年法律第30号）に基づいて財団法人証券保管振替機構の取扱い対象銘柄となり、新たに「実質株主」および「実質株主名簿」に係る事項が加わることになるため、これに対応した所要の変更を行うものであります。

#### 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分)

現 行 定 款	変 更 案
(名義書換代理人) 第9条 1. 当社は、株式につき名義書換代理人を置く。	(名義書換代理人) 第9条 1. (現行どおり)

現 行 定 款	変 更 案
<p>2. 名義書換代理人及びその事務取扱場所は、取締役会の決議により選定する。</p> <p>3. 当会社の株主名簿は、名義書換代理人の事務取扱場所に備え置き、株式の名義書換、株券の交付、単位未満株式の買取り、その他株式に関する事務は名義書換代理人に取扱わせ、当会社においてはこれを取扱わない。</p> <p>(株式取扱規程)</p> <p>第10条 当会社の株券の種類、株式の名義書換、株券の交付、単位未満株式の買取り、その他株式に関する請求、届出の手続き及び手数料については、取締役会の定める株式取扱規程による。</p> <p>(基準日)</p> <p>第11条 1. 当会社は、毎決算期日の最終の株主名簿に記載された株主をもって、その決算期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とする。</p> <p>2. 前項、その他定款に別段の定めがある場合を除き、必要ある場合には、取締役会の決議により、予め公告をして臨時に基準日を定めることができる。</p>	<p>2. (現行どおり)</p> <p>3. 当会社の株主名簿(実質株主名簿を含む。以下同じ。)は、名義書換代理人の事務取扱場所に備え置き、株式の名義書換、<u>実質株主通知の受理、実質株主名簿の作成</u>、株券の交付、単位未満株式の買取り、その他株式に関する事務は名義書換代理人に取扱わせ、当会社においてはこれを取扱わない。</p> <p>(株式取扱規程)</p> <p>第10条 当会社の株券の種類、株式の名義書換、<u>実質株主通知の受理、実質株主名簿の作成</u>、株券の交付、単位未満株式の買取り、その他株式に関する請求、届出の手続き及び手数料については、取締役会の定める株式取扱規程による。</p> <p>(基準日)</p> <p>第11条 1. 当会社は、毎決算期日の最終の株主名簿に記載された株主(<u>実質株主を含む。以下同じ。</u>)をもって、その決算期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とする。</p> <p>2. (現行どおり)</p>

### 第3号議案 当社取締役および従業員に商法第280条ノ19の規定による新株引受権を付与する件

商法第280条ノ19および当社定款第7条の規定に基づき、当社取締役および従業員の当社の業績に対する意欲や士気を高めることを目的に、下記のとおり、当社取締役および従業員に新株引受権を付与することにつき、ご承認をお願いするものであります。

#### (新株引受権付与の要領)

##### 1. 付与の理由

商法第280条ノ19の規定に基づき、当社取締役および従業員の業績向上に対する意欲や士気を一層高めることを目的に、新株引受権方式のストックオプション制度を実施するため。

##### 2. 付与の対象者

別表記載のとおり、本定時株主総会終結時に在任する当社取締役の内4名および本定時株主総会終結時に在籍する従業員の内45名。(以下「対象者」という。)

##### 3. 新株引受権の目的たる株式の額面無額面の別、種類

当社額面普通株式

##### 4. 新株引受権の目的たる株式の数

別表記載のとおり、新株引受権の対象株式数は90,000株とし、当社取締役4名に対して合計21,000株、従業員45名に対して合計69,000株をそれぞれ付与対象株式数とする。

当社が株式分割または株式併合を行う場合は、次の算式により調整されるものとする。ただし、かかる調整は、その時点で対象者が新株引受権を行使していない場合の目的たる株式の数についてのみ行われるものとし、計算の結果生じる1株未満の端数は切り捨てるものとする。

調整後株式数＝調整前株式数×分割・併合の比率

##### 5. 新株発行価額

権利付与日の属する月の前月の各日(ただし取引が成立しない日を除く)の大阪証券取引所における当社額面普通株式の終値(当日に終値がない場合にはそれに先立つ直近日の終値とする。)の平均値とし、計算の結果生じる1円未満の端数は切り上げるものとする。



ただし、新株引受権付与契約締結日（同日に取引が成立しない場合は直近の日）における大阪証券取引所が公表する当社額面普通株式の最終売買価額を下回らないものとする。なお、当社が株式分割または株式併合を行う場合は、次の算式により発行価額を調整し、計算の結果生じる1円未満の端数は切り上げるものとする。

$$\text{調整後発行価額} = \text{調整前発行価額} \times \frac{1}{\text{分割・合併の比率}}$$

#### 6. 新株引受権行使期間

平成14年7月1日から平成16年3月31日までとする。

#### 7. 新株引受権行使の条件

- ① 新株引受権の譲渡、質入れ、その他一切の処分および相続は認められないものとする。
- ② 対象者は、新株引受権の行使時においても当社の取締役または従業員であることを要する。
- ③ 権利付与日、その他細目については、本総会決議および取締役会決議に基づき、当社と対象者との間で締結する新株引受権付与契約に定めるところによるものとする。

(別表) 新株引受権付与対象者一覧表

## 取締役4名

氏名	株式数
八百博徳	8,000株
中村英記	5,000
久保山浩樹	4,000
川上優	4,000

## 従業員45名

氏名	株式数	氏名	株式数	氏名	株式数
永立良平	3,000株	渡邊真実	2,000株	久保忠夫	1,000株
井丸達治	3,000	久保弘樹	1,000	安久伸治	1,000
長村泰	3,000	藤田淳	1,000	草野弥一郎	1,000
松野重久	3,000	大西智也	1,000	石田博資	1,000
本田一義	3,000	網野典之	1,000	橋本竜太郎	1,000
和泉眞人	3,000	渡部大二郎	1,000	西田三朗	1,000
川上陸史	3,000	廣瀬邦彦	1,000	佐藤宏治	1,000
野崎伸一	3,000	二見忠	1,000	渡邊明美	1,000
藤原直樹	2,000	田中淳史	1,000	浅野葉子	1,000
佐々木弘二	2,000	白山徳彦	1,000	原智子	1,000
野口敦史	2,000	平田広太郎	1,000	天野照子	1,000
富田鉄也	2,000	秋山剛志	1,000	宮尾真由美	1,000
水浦敏弘	2,000	呑山豊	1,000	遠藤久美子	1,000
柴田周子	2,000	村田充紀	1,000	山下和美	1,000
澤田佳代子	2,000	岩倉史朗	1,000	藤原麻衣子	1,000

以上

# 株主総会会場ご案内図

会 場 大阪市中央区馬場町2番24号  
KKRホテル大阪 3階 銀河（西）の間  
TEL 06-6941-1122



- 交通のご案内
- JR環状線森ノ宮駅下車西へ徒歩10分
  - 地下鉄中央線、谷町線谷町4丁目駅下車9番出口より東へ徒歩10分
  - 地下鉄中央線森ノ宮駅下車西へ徒歩10分
  - 地下鉄長堀鶴見緑地線森ノ宮駅下車西へ徒歩10分

● 駐車台数に限りがございますので、ご来館には、なるべく一般の交通機関をご利用下さい。